やりゆうでぇ②

香南市天然色劇場から、心地よい軽快なリズムが聞こえています。今月は、吉川町子ども会の元気な活動の一つ「太鼓・獅子舞」を紹介します。

ドンドコドン、ドコスコドン。今日も太鼓が軽快なリズムをきざみます。

吉川町では、年間を通じて子どもたちが地域の伝承芸能「太鼓・獅子舞」に取り組んでいます。毎月一回の練習を行い、港まつり、秋まつり、文化祭など多くの場で披露しています。

かつての教え子が指導者に

今から五十数年前、地元の青年が中心となり、太鼓・獅子舞を始めました。当時の住民は新しい村の文化を大変喜んでいました。

けれど、青年たちの県外への就職、高齢化から次第に太鼓・獅子舞は日の目を見ることが無くなり、住民の記憶からもだんだん消えていきました。

しかし、今から二十六年前に子ども会の手によって復活し、地域の住民は涙を流してそれを喜びました。指導者は、五十年前に始めた当時の青年たち。今の指導者は、当時小学生だった子どもたち。今では、子どもも大人も一体となって取り組んでいます。

◀大太鼓は一番大きな声をあげてリズムをとる

▲獅子舞の練習は手作りの獅子頭で

子どもたちは、「太鼓楽しい！」「終わった後の拍手が最高！」と活動を楽しみにしています。青年たちは、「二十年前のおばちゃんたちの涙が忘れられん」「子どもたちに自信がつくのがうれしい」と活動の魅力を存分に語ってくれました。

子どもも大人も一つになって伝統芸能に取り組み、地域に発表するのは、自分のふるさとに誇りを持ち、地域全体の活性化につながっています。

打ち始め式を今年も五月に行い、子どもたちはやる気にあふれています。練習は厳しいですが、地域での披露と住民の声援を楽しみに今日も笑顔で太鼓をたたいています。

獅子をかぶって本格練習

編集後記

▼子どもから大人、地域がひとつになって伝承されている吉川町の「太鼓・獅子舞」、先輩から後輩へ、いつまでも受け継ぎ、伝えていってほしいと思います。（松）

▼息子のライバルたち（!?）が、いきいきとしたプレーをみせてくれた日米野球。この取材で、沢山の人の気持ちに触れることができました。鋭い目線と熱い心で香南市を書いてくれているスポーツ大好きな新聞記者の方もその一人。いろんな人の気持ちを受けて、まちを応援していける広報でありたいと思い…実は沢山の元気をもらっています！（井）

▼じわじわ夏の熱気が！七月、八月は夏祭りが沢山あります！今年は花火が五回も楽しめますよ♪（N）

お詫びと訂正

《6月号》おおきくなーれ!!のコーナーの堀真奈ちゃんのお名前を「掘」と表記し間違いました。お詫びして訂正いたします。

《広報へのメール》
kouhou@city.kochi-konan.lg.jp
《香南市のホームページ》
http://www.city.kochi-konan.lg.jp

香南市広報「こうなん」平成十八年七月一日発行
編集・香南市広報編集委員会　発行・香南市役所
〒781－5292 高知県香南市野市町西野二七〇六 TEL（〇八八七）五六－〇五一一